

私の考へ方は、あまりに私自身に即しすぎた考へ方であるかも知れないが、人間は、その人の現在の生活状態、過去の生活状態の生んだその人の性格によって、その人の生活気分は相異し、即ち、二十台だから二十台の生活気分を持ってゐられないこと、また、二十台の偉さを偉しとしてゐられないこと、是認されぬばならぬ。そして、私共が二十台の身空を以て、無暗矢鱈に新時代の衣裳調度を身に纏ひ、やれダンスだ、やれ音楽だといひやうに新時代の零団気に捲き込まれなくても、また、何で彼でも浮はづいた新時代意識を解揮して踊り狂はなくても、別段に恥辱するに当らないと思ふ。

丸鬘、银杏返し、島田の女も仲々いゝでな  
 いか、浮世繪といふ藝術の世界も捨てがたい  
 ところがあるぢやないか、薄暗い四疊半で抹茶を  
 嘖喫するのも時に好まし  
 いでないか、古風な能舞台で古風な衣裳を  
 けた役者の古風な會話もまた一興でないか。

7 新

小島徳弥